

を埋めなさい。

## ゴール

その形は正方形、長方形、円形、楕円形、また はこれらの のいずれかでなければならず、 なるものであってはならない。

## 欠損が生じたボールの交換

ボールに欠陥が生じた場合:

- プレーは、 される。
- プレーは、 で再開される。

## 電子的パフォーマンス・トラッキングシステム ( )

FIFA、大陸連盟または各国サッカー協会の主催下で行われる公式競技会の試合で、電子的パフォーマンス・トラッキングシステム ( ) のひとつとしてウェアラブル技術 (WT) が用いられる場合、競技会主催者は、競技者が着用する機器が危険でないものであり、 (国際試合標準)か 品質基準のいずれかに適合したものとさせなければならない:

テストを行う検査機関は によって承認される必要がある。

## ペナルティーマークからのキック

試合後にペナルティーマークからのキックが行われるときも、他に規定されていない限り、競技規則の関係諸条項が適用される。試合中に退場を命じられた競技者のキックへの参加は認められないが、試合中に示された や はキックに繰り越されない。

## ペナルティーマークからのキックの進行中

ゴールキーパーが反則を犯し、その結果キックを再び行うことになった場合、1度目の反則であったなら、ゴールキーパーは され、その後も反則を犯したならば、 される。

## オフサイド

オフサイドポジションにいる競技者は、相手競技者が にプレーしたボールを受けたとき、意図的な の反則を犯した場合も含め、 を得ているとはみなされない。ただし、意図的な からのボールを除く。

## ボールを手または腕で扱う

ハンドの反則を判定するにあたり、腕の上限は の下の最も奥の位置までのところとする。競技者が次のことを行った場合、反則となる。

- 手や腕を の方向に動かす場合を含め、手や腕を用いて意図的にボールに触れる。
- を含め、 であっても、手や腕から相手チームのゴールに直接得点する。
- であっても、ボールが自分や味方競技者の手や腕に触れた直後に
- ・ 。
- ・ 。

ゴールキーパーは、自分のペナルティーエリア外でボールを手または腕で扱うことについて、他の競技者と同様に制限される。ゴールキーパーが自分のペナルティーエリア内 で、認められていないにもかかわらず手や腕でボールを扱った場合、 が与えられるが懲戒の罰則にはならない。しかしながら、プレーが再開された後、他の競技者が触れる前にゴールキーパーが再びボールに触れる反則の場合(手や腕による、よらないにかかわらず)、 、または相手の のであれば、懲戒の罰則となる。

## カードを示すためにプレーの再開を遅らせる

主審が警告または退場と判断した場合、懲戒の罰則の処置をし終えるまでプレーを再開 させてはならない。ただし、主審が懲戒の罰則の手続きを始めておらず、反則を犯して いないチームがすばやくフリーキックを行って、明らかな得点の機会を得た場合を除く。懲戒の罰則の処置は、次にプレーが停止されたときに行われる。なお、反則が相手チー ムの のものであった場合、競技者は警告されることになり、 ものであった場合、競技者は 警告されない。

## アドバンテージ

警告や退場となるべき反則に対して主審がアドバンテージを適用したとき、この警告や 退場処置は、次にボールが になったときに行われなければならない。しかしながら、反則が相手チームの決定的得点の機会を阻止するものであった場合、競技者は で警告され、反則が大きなチャンスとなる攻撃を妨害、または 阻止したものであった場合は されない。

## 反スポーツ的行為に対する警告

相手の大きなチャンスとなる攻撃を妨害、または阻止するために を犯す。ただし、ボールをプレーしようと試みて反則を犯し、主審が を与えた場合を除く。

黒部分を埋めなさい。

ペナルティーキックの結果		
	ゴール	ノーゴール
攻撃側競技者による侵入	ペナルティーキックを再び行う	間接フリーキック
守備側競技者による侵入	ゴール	ペナルティーキックを再び行う
守備側競技者および攻撃側競技者による侵入		
ゴールキーパーによる反則	ゴール	セーブされない:ペナルティーキックは再び行われぬ(が が影響を受けていない限り) セーブされる:ペナルティーキックを再び行い、ゴールキーパーに、以降の反則には
ゴールキーパーおよびキッカーが同時に反則	間接フリーキック +キッカーに警告	+
ボールが後方にけられた	間接フリーキック	間接フリーキック
不正なフェイント	間接フリーキック +キッカーに警告	間接フリーキック +キッカーに警告
特定されていないキッカー	間接フリーキック +特定されていないキッカーに警告	間接フリーキック +特定されていないキッカーに警告